

CASBEE-建築(新築)2016年版
 京都西山高校第一校舎建替

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質			0.40			3.1
Q1 室内環境						3.6
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽衝撃源)		3.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重衝撃源)		3.0	0.20	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.60	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.40	-	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		4.4	0.25	-	-	4.4
3.1 屋光利用		4.6	0.30	-	-	
1 屋光率	共用部6%	5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 屋光利用設備	吹抜け+開口部	4.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 屋光制御	外壁面よりセットバックした位置のサッシ+カーテン	4.0	1.00	-	-	
3.3 照度	500lx ≤ [照度] < 750lx	4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御	自らが点灯・消灯によって制御かつ部分的に自動調光ができる	5.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.6	0.25	-	-	4.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	内装材は全てF☆☆☆☆をとしVOCIについても放散量が少ない建材	5.0	1.00	-	-	
4.2 換気		4.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上	5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	給気口と排気口の位置に配慮している	5.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 省エネルギー性能			0.30			3.7
1 機能性		4.1	0.40	-	-	4.1
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	光配線	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		4.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画		5.0	0.30	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.50	-	-	
1 広さ感・景観	教室の天井高2.7m	5.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	インテリアパースによる内装計画	5.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	トイレ毎に清掃用流しを設置している。	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		2.2	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		2.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	長尺シート:20年	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水型便器を採用	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30		-	3.2
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30		-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		0.1≦壁長さ比率<0.3	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		バックアップ設備のためのスペースの確保	4.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー				0.40			3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm0.68	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		太陽光パネルの設置	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.76	3.4	0.50		-	3.4
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.6
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水コマに加え節水便器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60		-	3.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		塩ビシート、石膏ボード、押出ポリスチレンフォーム	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS OAフロア	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20		-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料の使用	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		ノンフロンの断熱材の採用	4.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率68%	3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミの分別回収容器・ボックスの設置	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.3	0.33		-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.60		-	
2 砂塵の抑制			3.0	0.20		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制			4.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害ガイドラインチェックリストの過半を満たしている	5.0	0.70		-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		コンクリート打放しの上外装薄塗材E	4.0	0.30		-	